

# 選別の徹底で高品質な出荷 青果平均単価375円(1kg)！ 過去最高値を記録！！

## 7年連続1戸当たりの平均販売高1000万円 2年ぶり販売高4億円を突破

令和6年産は一年を通じて安定単価で販売でき、7年連続1戸当たりの平均販売高1000万円と、2年ぶりに販売高4億円を突破しました。猛暑による生育の停滞等の影響もあり、やや小玉傾向での収穫開始となりましたが、徐々に肥大し2L～Mサイズの単価が取れる階級が中心で収穫することができました。心配された病害虫対策では、行政や関係機関との連携を密にして「持ち込まない・増やさない・残さない」対策を徹底。出荷においては部会員の意識を統一し、選別の徹底に力を入れ高品質なカンショの出荷を継続しました。

※部会員戸数29戸、作付面積6470a。品種は「高系14号の『ほりだし君』と「べにはるか」の2種。

## 先人から引き継ぐ「高品質なカンショ」

先人が築いてきた「高品質なカンショ」というイメージをうまく引き継ぎ、年々引き合いが強くなっています。先輩農家の栽培技術・出荷選別を継承しつつ、新たな取り組みも行いながら更なるPRと有利販売に努めています。

※日本郵便(株)が企画・監修する「ふるさと小包チラシ」販売やJA直売所での販売も継続して取り組み、JA熊本経済連を介して行う香港への輸出も数量を伸ばした。



新役員紹介

## 新部会長に大田黒さん

総会では、役員改選があり新部会長に大田黒裕樹さん、副部会長に豊岡隆行さんが就任しました。令和7年産は8月末から収穫が始まり、本格化する前に役員で各取引市場を訪問し、売り込んでいきます。大田黒新部会長は「異常気象や病害虫に負けないよう、行政や関係機関としっかり連携し、高品質なカンショの生産を維持していく」と話しました。

## 〈優秀農家表彰〉

- ◇品評会最優秀賞
  - ▽「ほりだし君」の部=迫本文人さん
  - ▽「べにはるか」の部=坂本学さん
- ◇品質・選別優秀賞=古庄裕生さん



大田黒部会長

永田前部会長

部会員と関係者